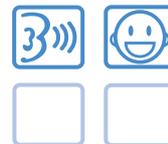


2-6

だれのですか



活動

ぶんぼうぐ も ぬし さが
文房具の持ち主を探す。

かたち



時間

せつめい編

助-05 の

語-03 この / その / あの

談話の技術

おうとう
・ 応答する (はい)

準備するもの

使うことば

この、ペン、だれ、(わたし)、はい
(ありがとう)

手 順

1. 4、5人のグループになる。
2. グループでそれぞれの学習者が、ボールペンなどの文房具を2つずつ出して1か所に集める。その中からほかの人の文房具を2つ取る。
3. 最初の学習者Aを決める。その人は2つの文房具のうちの1つをグループの人に見せ、だれのかたずねる。
4. 文房具の持ち主Bが「わたしのです。」と答えたら、AはそれをBに返す。
5. Bは「ありがとう。」と言って自分の文房具をAから受け取る。
6. 今度はBが持っていた2つの文房具のうち、1つをグループの人に見せ、だれのかたずねる。
7. このようにして、自分の文房具を受け取った人が、次に質問して練習を続ける。

モデルテキスト

A: この ペンは だれのですか。

B: わたしのです。

A: (Bにわたしながら) はい。

B: ありがとう。

バリエーション

(1) 「その」を使う練習。

<バリエーションの手順>

以下①～④は絵を参照。<手順>5までは、同じ。

6. Aは、Bに文房具をわたしたら(絵②)、Bが持っていたものを指さし、「じゃあ、その～はだれのですか。」とたずねる。Bは「わかりません。」と答える。(絵③)

7. Bはその文房具をグループの人に見せ「この～はだれのですか。」とたずねる。(絵④)

8. Cが「わたしのです。」と言ったら、Bは「はい。」と言ってわたす。Cは「ありがとう。」と言って、受け取る。

9. BはCが持っていたものを指さし「じゃあ、その～はだれのですか。」とたずねる。そして、このようにして続ける。



先生へ

- この練習の中の「はい」は、肯定の答えではなく、ものをわたすときに相手の注意をひくために言うことばである。わたす相手に向かって、わたしながら言うことが大事。